



令和5年度

九州女子大学食物栄養研究会総会及び講演会

5月27日(土)に春の食物栄養研究会が50周年記念ホールにて開催され
3名の先生方よりご講演頂きました。

第1席は昨年の3月に本学を卒業後、一般社団法人 遠賀中間医師会
おんが病院で病院管理栄養士としてご活躍されている貴島未郁先生に
「病院管理栄養士になるまでの道のりと今」というテーマで
ご講演いただきました。



一般社団法人 遠賀中間医師会
おんが病院
管理栄養士 貴島 未郁 先生

貴島先生には、大学生生活のこと、就職活動で努力されたこと、
病院管理栄養士としてどのような仕事をしているかなど、
ご講演頂きました。

学生時代、貴島先生は現在の職場に決まるまでに就職活動においてたくさんの努力をされ
ており、就職活動で様々な経験をされた貴島先生の「とにかく諦めない、めげない気持ちが1
番」という言葉は学生の皆さんの心にとっても響いたのではないのでしょうか。

病室に入った時、何時もの患者様がなくなっていた時の貴島先生の言葉が詰まった時は、
涙が出てきました。貴島先生の患者様に対する思いは我々の心に響きました。病院における管
理栄養士の姿を見た気がします。

学生の皆さんには、何事も諦めず夢実現の為に九女で頑張ってくださいと思います。



講演会後の学生との懇談会の様子



第2席は、パーソルキャリア株式会社 エージェント事業部でリクルーティングアドバイザーとして、ご活躍されている門野政子先生に「管理栄養士を目指した私が今歩んでいるキャリア～あなたはどのような選択肢がありますか～」というテーマでご講演いただきました。

門野先生は、本学を卒業後、大鵬薬品工業株式会社でMR(医薬情報担当者)として勤務され、昨年転職し、パーソルキャリア株式会社で勤務されています。

学生時代、将来どんな「管理栄養士」になろうかと考えていた時に、この食物栄養研究会がきっかけで管理栄養士ではなくMRを目指されたそうです。



パーソルキャリア株式会社
エージェント事業本部
リクルーティングアドバイザー
門野 政子 先生

「管理栄養士の資格を取って何一つデメリットは無かった。良いことしかなかった」
という門野先生のお言葉は、学生の皆さんの将来の選択肢が広がり、国家試験合格へのモチベーションもアップしたのではないのでしょうか。



講演会後の学生との懇談会の様子

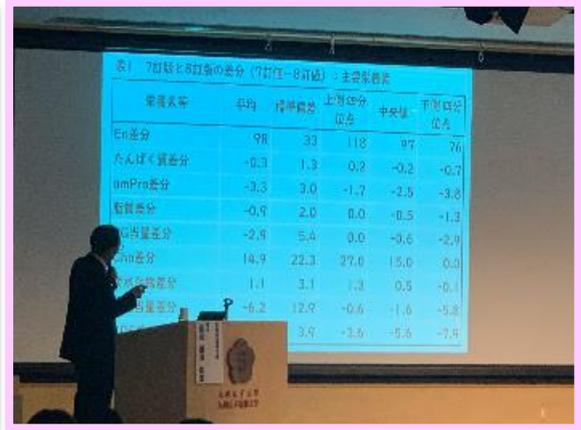
第3席は宮崎県栄養士会 会長 酒元誠治先生に「2025年改訂における食事摂取基準と日本食品標準成分表への対応」というテーマでご講演いただきました。



宮崎県栄養士会 会長
酒元 誠治 先生

管理栄養士にとってのバイブルである、「日本食品標準成分表」と「食事摂取基準」ですが、5年毎に改訂される為、日々学習し最新の情報を取り入れることが重要であるとお話頂きました。

卒業後、管理栄養士を取得して終わりではなく常に学習し続け、信頼される管理栄養士になって欲しいです。



今回の講演会は、学生にとって将来のことや国家試験受験について、改めて考えるきっかけになったと思います。

これからの学校生活、日々の授業を大切に、有意義に過ごし、将来なりたい自分になれるように頑張ってください。

